



夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第26号(R4. 10. 3)

剣道部男子、宗像区大会第3位で筑前地区大会へ進出!

昨日行われた宗像区新人剣道大会団体戦で、男子剣道部は第3位となり筑前地区大会への切符を手に入れました。剣道筑前地区大会は、11月5日(土)宗像中央中学校体育館で開催されます。引き続き応援していきましょう。

新人戦に向けての各部活動・クラブチームの代表者による決意表明 Part3



【ソフトボール部 丸谷 優衣さん】

こんにちは。ソフトボール部キャプテンになりました丸谷優衣です。新人戦の目標は、筑前地区大会に出場することです。そのために一日一日の練習を大切にしてチームで明るく元気に声を出して全力で取り組んでいきたいと思っています。今年のチームは8年生が少なく、7年生が多いのでたいへんなこともたくさんあるけど、チームの全員で協力してチームワークを高めていきたいです。そして、目標の筑前大会に出場できるように全力でプレーしていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

【柔道部 高口 怜桜さん】

こんにちは、柔道部部長の高口怜桜です。柔道部は僕以外に7年生が2人います。7年2組の山近笙真さんと3組の栗原健太郎さんです。3人とも小学生のころから道場に通って練習を重ねてきました。僕と山近さんは同じ道場ですが、栗原さんは別の道場に所属しています。別々の道場にいますが、これからは河東中柔道部として、来年は3人で中体連に出場することになります。毎日の練習を一つ一つ大切にして河東中柔道部の名に恥じないような成績を残したいと思っています。



【女子陸上部長距離 福永 彩乃さん】

こんにちは、女子陸上部長距離です。私たちの駅伝での目標は、筑前地区駅伝大会で優勝し、県駅伝大会に出場することです。そのために、きつい練習でもみんなで声をかけ合い、みんなで一生懸命頑張ってきました。今まで練習してきたことが大会でしっかり発揮することができるように頑張ります。今、9年生の中で部活をしているのは陸上部長距離だけで、他の部活の9年生は引退し、受験勉強を頑張っていると思うので、私たちは目標を達成できるように残り一週間の練習を悔いの残らないように頑張ります。応援よろしくお願いします。



【男子陸上部長距離 田中 樹さん】

こんにちは、男子陸上部長距離キャプテンの田中樹です。男子陸上部長距離は、10月12日に行われる筑前地区駅伝大会での目標は3位以内に入り県大会に出場することです。なぜなら、新人駅伝で県大会に出場する目標が達成できなかったリベンジをするためです。9年生にとっては、もう最後かもしれないので、最後にならないように、一日一日の練習を大切に全力で頑張ります。本番では、789年生が一つのチームとなり、たすきをつなげ頑張ります。応援よろしくお願いします。



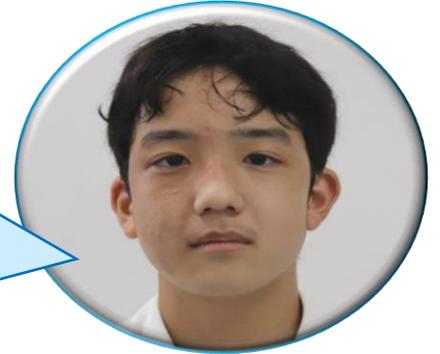


【 家庭科部 平田 帆花さん 】

こんにちは、家庭科部です。家庭科部は10月30日に河東コミュニティ・センターであるお祭りでの作品販売に向けて、部員みんなで協力して作品作りをしています。一つ一つ丁寧に作り、長く使っていただけるように工夫をしたいと思っています。また、初めて接客をするので、来られた方に明るく接したり、元気なあいさつでおもてなしをしたりします。来られた方に気持ちよく作品を選んでいただきたいので、これから部活動では「明るく」と「元気なあいさつ」、「気づかい」を心がけていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。

【 技術部 大久保 蓮利さん 】

こんにちは。技術部部長の大久保蓮利です。技術部は、新人戦などはないのですが、ロボコンというロボットの大会やマイパソというタイピングの速さを競う大会などがあります。それぞれの大会で自分の実力を十分発揮できるように、技術部では日々大会の練習をしています。また、文化祭では技術部の仲間といつも以上に協力して正確で綺麗な作品を作っていきたいと思っています。日々の部活の声かけや仲間と協力する力、行動の速さなどもいつも以上に頑張っていきたいと思っています。



書くことと話すことで思考力が飛躍する!!

～ ただ考えるよりも、書きながら考える・話しながら考えることのススメ ～

繰り返し生徒のみなさんにお伝えしていますように、今一番求められている学力は“思考力・判断力・表現力”です。先行き不透明な時代の中で、この傾向はますます進むでしょう。

では、思考力はただ頭の中で考えていれば養われるのでしょうか。

より効果的な方法があります。それは、書きながら考えることと話しながら考えることです。ただ考えるよりも、書きながら考えたり話しながら考えたりの方がより思考力は高まります。書いたり話したりする中で、思考が深まり思考が広がることはみなさんも経験からわかることでしょう。だから、学習の際、このことを意識するほうが思考力向上に効果が高いのです。例えば、数学の問題を前にしてじっと考えているよりも、手を動かして考える方が解ける可能性が高くなります。



なぜ、そのような現象が起こるのかというと、書くことと話すことで考える対象が目の前にはっきり出てくるからなのです。そのことで物事は考えやすくなり問題を捉えやすくなるからです。

判断力も表現力も思考力を土台にしていますので、思考力を高めることで判断力や表現力にも良い影響を与えます。表現力自体、書くことと話すことで磨かれていきます。

河東中学校の本年度の重点目標に、「対話的な授業」の推進をあげているのもそのためです。また、河東中では全領域で意図的に「記述」の時間を重視しています。これは、本年度の全国学力・学習状況調査で河東中生の記述力が全国平均や県平均を圧倒的に上回っていたことでも実証されています。もちろん、書くということの中には、鉛筆で紙に書くだけでなく、タブレットを使ってデジタルにパソコンで書くことも含まれます。パソコンで入力しながら当然思考力を使っているわけです。



さて、生徒のみなさんは今後も授業中に限らず、あらゆる学習の場・機会にただ考えるよりも、書きながら考えることと話しながら考えることを心がけていきましょう。